

清田区の地域交流拠点の整備

くわばら とおる
桑原 透

民主党・市民連合



問まちづくり戦略ビジョンでは、清田区役所周辺地区が、多様な交流を支える地域交流拠点の一つとして位置付けられています。清田区における地域交流拠点の整備について、今後どのように取り組んでいくのですか。

答地域交流拠点では、公共施設や商業などの中核的な都市機能の集約を図り、居住機能との複合化を促進します。清田区役所周辺地区については、今後、将来的な区民センターの集約化も視野に入れ、区民の皆さんと議論しながら、民間開発の誘発なども含めた、区役所中心のまちづくりの検討を本格化していきます。

放置自転車対策

なかむら
中村 たけし

民主党・市民連合



問用地の確保が難しい都心部や駅周辺の駐輪場整備について、現在、進んでいるものはどのようなものがあるのか、また、今後の整備の予定はどうか。

答JR駅の敷地や公共施設跡地の活用、都心部では地下駐輪場や民間の青空駐車場の活用など、さまざまな手法を取り入れて整備を進めています。今後も、国家公務員住宅跡地を利用した整備を計画しており、地下鉄高架下などの活用も検討していきます。

国土強靱(きょうじん)化計画と地元建設業界の現状

たにさわ しゅんいち
谷沢 俊一

公明党



問機能不全に陥らない経済社会システムを平時から確保し、大規模自然災害などに備えるこの計画に向けた、本市の認識と、取り組み状況について伺います。

答この計画は経済社会活動を安全に営むことができる地域づくりを通し、地域の経済成長にもつなげようとするものであり、積極的に進めていくべきものです。また、この計画の推進に資する事前防災・減災の取り組みなどについて、本年度、国へ要望活動を行いました。

問この計画の取り組みを担っていただく地元建設業界の今日の現状についてどのように認識しているのか、また、公共投資の中長期的な見通しについて伺います。

答地元建設業界は、公共投資の先行きを懸念していると認識しています。今後は、市有建築物などの更新需要のピークを平準化し、保全や再構築を計画的に進めます。それは業界の体制強化にもつながると考えます。

市議会の動き

9月22日に招集された第3回定例会の中から、9月29日、30日、10月1日の代表質問の主な内容、10月10日までに可決された議案などについてお知らせします。

10月11日以降の内容は、12月号でお知らせします。

集団資源回収の奨励金

こすだ さとし
小須田 悟士

自民党・市民会議



問古新聞などの集団資源回収は、町内会など地域住民団体と回収事業者、本市が連携して行っており、市民にとっては利便性の高さ、本市にとっては回収費用の安さという点で優れています。しかし、年間回収量は平成23年度をピークに減少に転じています。これは、回収実施団体への奨励金が現在まで、5年間据え置きのままであることが、大きな要因であると思います。奨励金を引き上げるべきではありませんか。

答今後も持続可能な取り組みとなるよう、奨励金の引き上げも含め、さまざまな角度から制度の拡充、充実について、検討していきます。

歩道施工ガイドラインの見直し・改訂

あべ
阿部 ひであき

自民党・市民会議



問歩道上の点字ブロックの設置場所が車道の停止線の内側に入っている箇所があり、極めて危険です。道警管轄の設置物との整合性を図るなど、歩道施工ガイドラインの見直しを行うべきではないですか。

答歩道施工ガイドラインの施工基準および設置例には設置物と点字ブロックとの位置関係について明記されていません。ガイドラインの見直しを行い、交通管理者の設置物との整合性を図るよう改訂します。